選んだ色のテキストコントラストをUIに使う前に確認する方法

UIに色を適用する前に、コントラストを確認しましょう。HEX値からアクセシブルなデザインへ移行するための具体的なワークフローを紹介します。

著者: Lubor Šimůnek • 公開日: August 29, 2026 • デザイン

オンライン版: https://appstoryo.com/ja/blog/check-text-contrast-picked-color-ui



なぜコントラストが重要なのか

世界中で約3億人が何らかの色覚異常を持っています。良好なコントラストで設計することは、単なる美観の問題ではなく、多くの地域で法的要件となっています。基準となる規格は**WCAG 2.1**で、次の2つのレベルを定めています。

- レベル**AA**: 通常テストで4.5:1、大きなテキスト（18px以上または14px太字）で3:1のコントラスト比。
- レベル**AAA**: 通常テキストで7:1。

よくあるミス

最も多いのは、白背景上の薄いグレー（1.5:1程度になることも）、視覚的には問題なく見えてもAAを通過しないカラーボタンの白テキスト、ライトモードでは合格してもダークモードで失敗する色などです。

実践的なワークフロー

1. 背景色を取得する。Color Picker Camera: HEX RGBを開き、カメラを表面に向けてタップするだけでHEX値が即座に得られます。アプリはHSLも同時に表示します。
2. テキストの色も同様に取得します。

3. コントラストチェッカーでペアを確認する — WebAIM Contrast Checker、DevToolsのアクセシビリティパネル、またはFigmaのContrastプラグインなど。
4. **HSL**で明度を調整して基準値をクリアする。H（色相）とS（彩度）を保ちながら、Lの値を下げて色を暗くします。

HSLがコントラスト調整に最適な理由

RGBとHEXは明度を直感的に操作できません。HSLは色相・彩度・明度を分離します。Color Picker Camera: HEX RGBはHEX、RGB、HSL、CMYKを同時に表示するため、手動変換不要です。

実例

中程度の青（#4A90E2）に白テキストのボタンは約3.1:1 — AAに届きません。ダークネイビー（#1A3A6B）に変えると9.4:1となり、AAAも余裕で超えます。

WCAG 3.0とAPCAについて

次世代のガイドラインではAPCA（知覚的コントラストモデル）が導入されます。WCAG 2.1 AAが現時点の標準ですが、長期的なプロジェクトにはAPCAのテストも検討する価値があります。

Color Picker Camera: HEX RGBはiOS版・Android版とも無料でダウンロードできます。広告なし、トラッキングなし、完全オフラインで動作します。

引用形式: Lubor Šimůnek (2026). 選んだ色のテキストコントラストを*UI*に使う前に確認する方法. AppStoryo, lapnito.cz s.r.o.. https://appstoryo.com/ja/blog/check-text-contrast-picked-color-ui
© 2026 lapnito.cz s.r.o.